

2019年度

I 世界史問題

注意

1. 試験開始の指示があるまでこの問題冊子を開いてはいけません。
2. 解答用紙はすべてHBの黒鉛筆またはHBの黒のシャープペンシルで記入することになっています。HBの黒鉛筆・消しゴムを忘れた人は監督に申し出てください。(万年筆・ボールペン・サインペンなどを使用してはいけません。)
3. この問題冊子は8ページまでとなっています。試験開始後、ただちにページ数を確認してください。なお、問題番号はI・IIとなっています。
4. 解答用紙にはすでに受験番号が記入されていますので、出席票の受験番号が、あなたの受験票の番号であるかどうかを確認し、出席票の氏名欄に氏名のみを記入してください。なお、出席票は切り離さないでください。
5. 解答は解答用紙の指定された解答欄に記入し、その他の部分には何も書いてはいけません。
6. 解答用紙を折り曲げたり、破ったり、傷つけたりしないように注意してください。
7. この問題冊子は持ち帰ってください。

マーク・センス法についての注意

マーク・センス法とは、鉛筆でマークした部分を機械が直接よみとって採点する方法です。

1. マークは、下記の記入例のようにHBの黒鉛筆で枠の中をぬり残さず濃くぬりつぶしてください。
2. 1つのマーク欄には1つしかマークしてはいけません。
3. 訂正する場合は消しゴムでよく消し、消しきらずはきれいに取り除いてください。

マーク記入例：

A	1	2	3	4	5
	○	○	●	○	○

 (3と解答する場合)

I. 次の文を読み、下記の設問A・Bに答えよ。解答は解答用紙の所定欄にしるせ。

古くから海は人・モノ・文化の移動の舞台となってきた。特にインド洋はアラビア半島をはさむペルシア湾と紅海を通じて地中海に接続し、アジアと地中海・ヨーロッパ世界を結ぶ海域であった。1世紀にはギリシア語によって当時のインド洋貿易に関する『エリュトラー海案内記』が著され、¹⁾インド洋各地の貿易品や航行に関する情報が記された。このとき、既にインド洋の「季節風」が航行に利用されていたらしい。

東方の物産が²⁾海の道から地中海にもたらされるにともない、経由地であるアラビア半島ではヒジャーズ地方を経由してパレスチナ・シリアで地中海に達するキャラバンルートが発達した。ヒジャーズ地方で³⁾イスラーム教が創始されると、その信仰はアラビア半島全域からさらに周辺地域へと広がった。⁴⁾イスラーム世界では知識人である（イ）や修行者であるスーフィーが知的・人的・物的交流の担い手であった。彼らは東南アジアや中国まで活動圏を広げ、中国では広州や泉州などの港湾都市に外国人居留区が形成された。

海を通じた交流には受動的であった中国だが、⁶⁾9世紀になると中国商人たちが積極的に⁷⁾海外に貿易に出るようになる。時を同じくして日本にも中国商人が往来するようになり、日本と中国の貿易関係は国家主導から民間主導に移行した。もともと日本に来航する唐船は大宰府の管理下に置かれていたが、やがて代表的貿易港のひとつとなる（ロ）で直接貿易をおこなうようになったのである。元朝の成立に前後してモンゴル軍は海域アジア各地に侵攻したが、その一環として日本に遠征をおこなうと、⁹⁾（ロ）湾岸が主戦場のひとつとなった。これによって海上貿易は一時中断したが、すぐに再開されている。

元朝に代わって中国を支配した明朝は海禁政策をおこないつつ、南シナ海・インド洋諸国に中国への朝貢を促す政策をとったが、¹⁰⁾16世紀にポルトガルがインド洋に進出すると、以後、¹¹⁾海域アジア世界の勢力関係は大きく変わることになる。

A. 文中の（イ）・（ロ）それぞれにあてはまる適当な語句をしるせ。

B. 文中の下線部1)～11)にそれぞれ対応する次の問1～11に答えよ。

1. この時インドから地中海にもたらされた物産としてあてはまるものを、次のa～dから1つ選び、その記号をマークせよ。

- a. 馬 b. オリーブ油 c. 綿布 d. ワイン

2. この風に関する次の問 i・ii に答えよ。
- i. 「季節」を意味するアラビア語にちなんでこの風を何と呼ぶか。カタカナでその名をしるせ。
 - ii. この風を利用して海を移動した人物にあてはまらないものを、次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
 - a. イブン=バットウータ
 - b. ヴァスコ=ダ=ガマ
 - c. プラノ=カルピニ
 - d. モンテ=コルヴィノ
3. この地方に関する次の問 i・ii に答えよ。
- i. ユダヤ人はローマ帝国下で二度の反乱を経てイェルサレムへの立ち入りを禁止され、各地へ離散せざるを得なかった。このことを何と呼ぶか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
 - a. シオニズム
 - b. ディアスポラ
 - c. ヒジュラ
 - d. ホロコースト
 - ii. イスラエルが建国されると、ユダヤ人とパレスチナ人の対立は周辺諸国を巻き込み、戦争に発展した。1967年にゴラン高原・ヨルダン川西岸がイスラエルに占領されたのはどの出来事のとときか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
 - a. 第一次中東戦争
 - b. 第二次中東戦争
 - c. 第三次中東戦争
 - d. 第四次中東戦争
4. イスラーム教で預言者とされていない人物を、次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. アブー=バクル
 - b. イエス
 - c. ダヴィデ
 - d. ムハンマド
5. この世界の拡大に関する次の問 i～iv に答えよ。
- i. この世界の東部では 9 世紀末以後、アラビア語以外の言語も行政・文学で使用されるようになった。『シャー=ナーメ』(王の書) や『ルバイヤート』(四行詩集) の記述に用いられた言語の名をしるせ。
 - ii. この世界に属するアフリカ北部地域は、「西方(日の没するところ)」を意味するアラビア語で何と呼ばれたか。その名をしるせ。
 - iii. モンバサやキルワなどアフリカ東海岸部にもイスラーム世界が拡大する。これらの港湾都市に居留したムスリム商人が伝えたイスラーム文化と現地のバントゥー文化が融合して形成された文化は何と呼ばれるか。その名をしるせ。

- iv. 12～15世紀にかけ、マムルーク朝やラスール朝の庇護のもと、アレクサンドリア、カイロ、アデン等の貿易港を拠点に香料・砂糖・穀物などの貿易で活躍した商人集団はどれか。次の a～d から 1つ選び、その記号をマークせよ。
- a. カーリミー商人 b. クライシュ商人
c. ソグド商人 d. ホラズム商人
6. これらの都市と並んで、宋代に貿易を管理する市舶司が置かれ、日本から来る商船の窓口となった都市はどこか。次の a～d から 1つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 厦門 b. 開城 c. 開封 d. 明州
7. 唐代・宋代にこうした外国人居留区は何と呼ばれたか。次の a～d から 1つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 会館 b. 公所 c. 租界 d. 蕃坊
8. これに関する次の問 i・ii に答えよ。
- i. 彼らが海外に進出した要因の1つとして、黄巢の乱を契機にムスリム商人たちが中国から撤退したことが伝えられる。反乱の首謀者、黄巢が違法に扱っていた国家専売品で、歴代中国王朝の重要な財政収入源であった品目の名をしるせ。
- ii. 彼らが南海貿易に進出した背景として宋代における社会・経済の変化が重要であるが、その説明としてふさわしいものを、次の a～d から 1つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 海運航路が積極的に開拓され、大運河による穀物流通に取って代わった
b. 江南地方の開発が進んで農業生産力が増大し、新興の地主層が台頭した
c. 地方分権が進み、商業・消費の拠点が都市から地方の草市・鎮へ移動した
d. 陶磁産業が発達し、染付と呼ばれる陶磁器が都市生活に浸透した
9. このことに関する次の問 i・ii に答えよ。
- i. モンゴルの侵攻を受けなかった国を、次の a～d から 1つ選び、その記号をマークせよ。
- a. スコータイ王国 b. 大越国
c. チャンパー王国 d. パガン王国
- ii. モンゴルの侵攻以後も海域アジア諸国は中国と盛んに貿易をおこなったが、その主要な貿易品に中国銭があった。その生産額が中国史上最大で、日本を含む海域アジア諸国に広く流通したものを、次の a～d から 1つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 五銖銭 b. 宋銭 c. 半両銭 d. 布銭

10. 朝貢制度とかかわりの深い冊封体制に関する次の問 i・ii に答えよ。
- i. 冊封の説明として正しくないものを次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 冊封とは爵号や官位を与えて君臣関係を結ぶことを指す
 - b. 中国以外の国どうしが朝貢を伴う冊封関係を結ぶことがあった
 - c. 朝貢をおこなうには冊封を受ける必要があった
 - d. 自ら朝貢して中国の冊封体制に入ろうとする国があった
- ii. 19世紀になってヨーロッパ勢力から外交的な圧力が強まると清朝は既存の対外関係を維持することが困難となり、1861年には冊封体制や朝貢制度に基づかない外交を前提とする機関を設置せざるを得なかった。その機関の名をしるせ。
11. ポルトガルが拠点とした港湾都市でないものを、次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. ゴア
 - b. ホルムズ
 - c. マニラ
 - d. マリンディ

II. 次の文を読み、文中の下線部1)～15)にそれぞれ対応する下記の設問1～15に答えよ。

解答は解答用紙の所定欄にしるせ。

記録上、漢¹⁾の時代に確認される喫茶習慣は、唐代²⁾にはさらに広がった。それに対し、ヨーロッパの人たちが茶を知ったのは、かなり後のことであった。『世界の記述（東方見聞録）』を残したヴェネツィアの人マルコ＝ポーロは、元³⁾に渡り十数年間滞在したとされるが、同書では喫茶に関する記述は見ることができない。記録に残るものでは、ポルトガル人⁴⁾が16世紀⁵⁾に来日した際に、日本の茶の文化に接している。ポルトガル人の宣教師の記録では、「日本の高貴な家では、チャ（cha）という飲み物を供し、赤い色をして苦く、薬としても用いる」とある。また、イエズス会の宣教師で1563年⁶⁾に日本に布教にきたポルトガル人のルイス＝フロイスが『日欧文化比較』の中で日本の茶にまつわる文化として「われわれが宝石や金、銀⁷⁾を宝物とするように、日本は古い釜やヒビ割れた陶器、土製の器等を宝物とする」と記述している。

茶がヨーロッパ各国に浸透しはじめたのは、17世紀初頭⁸⁾にオランダ東インド会社が東アジアの茶をもたらしただことがきっかけであった。オランダ人が、1610年⁹⁾、マカオと平戸から茶を買って本国に運んだことで茶のブームが起き、富裕な人々¹⁰⁾の間で人気を呼んだ。それ以降に運び込まれた茶は中国の茶であったが、あいかかわらずオランダでは日本から伝わった抹茶の飲み方や茶道に興味を持たれた。

イギリスへの茶の浸透は、オランダから半世紀以上も遅れていた。中東で16世紀から広がっていたコーヒーハウスは、17世紀中ごろからイギリスの都市で流行したが、1657年¹¹⁾にはロンドンのコーヒーハウスで初めて茶が取り扱われた。同店では「古い歴史や文化を誇る国々では、東洋の茶をその重量の倍の銀で売買している」と、いかに茶が高価で貴重であるかを喧伝した。さらに、茶の薬効を謳ったポスターも作られた。

その後、イギリスでは紅茶が普及することになる。トーマス＝トワイニングが1706年¹²⁾にロンドンで紅茶も取り扱う「トムズコーヒーハウス」をオープンし、1717年¹³⁾にはイギリス初の紅茶専門店「ゴールデンライオン」を開業したことなどで紅茶の常飲習慣が定着していく。当時紅茶は、イスラーム世界から欧米にもたらされていたコーヒーよりも高価であった。イギリスでは「午後の紅茶」は上流階級の贅沢な楽しみとされていた。他方、コーヒーはアメリカで独立革命¹⁴⁾以降広く愛飲されるようになった。やがて、イギリスでは1849年¹⁵⁾に航海法が廃止され、紅茶運搬船による競争が激化したため、国内に安価な紅茶が流入した。そのため、労働者に不可欠な日常品として、紅茶はさらに普及したのである。

1. この時代の歴史をしるした『漢書』で採用され、後の歴史書の基本的な形となった記述形式は何とよばれるか。その名をしるせ。
2. この時代に中国へもたらされたキリスト教の一派（景教）は、ネストリウス派といわれている。これに関する次の問 i・ii に答えよ。
 - i. 景教の教会堂は何と呼ばれたか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
 - a. 清真寺
 - b. 聖塔
 - c. 聖堂
 - d. 大秦寺
 - ii. ネストリウス派を異端とした公会議はどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
 - a. エフェソス公会議
 - b. クレルモン公会議
 - c. コンスタンツ公会議
 - d. ニケーア公会議
3. この王朝の冬の都はどこか。その名をしるせ。
4. ポルトガル人は1517年に明を訪れているが、明朝が建国当初定めた都の現在の名称は何か。その名をしるせ。
5. この時代のオスマン帝国による領内在住の外国人に対する通商上の恩恵の特権慣習の公認はカピチュレーションと呼ばれるが、それが最初に適用された国はどこか。その名をしるせ。
6. この年まで続けられ、対抗宗教改革の方針を定めた公会議は何か。その名をしるせ。
7. 1545年に発見されたアメリカ大陸最大の銀山は何か。その名をしるせ。
8. この会社に関する次の問 i・ii に答えよ。
 - i. この会社の設立以前の出来事はどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
 - a. イギリスがスペインの無敵艦隊に勝利した
 - b. オランダ独立戦争が終結した
 - c. フランスが東インド会社を設立した
 - d. ヌルハチがアイシンを建国した
 - ii. この会社に関する記述として正しいものはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
 - a. アメリカで茶の独占販売権を与えられた
 - b. ジャワ島を中心に強制栽培制度を推進した
 - c. マドラスやボンベイを根拠地とした
 - d. マラッカをポルトガルから奪った

9. この前年にオランダと休戦条約を結んだ国はどこか。その名をしるせ。
10. 17世紀、「夜警」に代表される集団肖像画や静物画などを描き、こうした階層の人々に人気を博したオランダ人の画家は誰か。その名をしるせ。
11. この当時のイギリスの統治者は誰か。その名をしるせ。
12. この翌年、同君連合の関係にあった2つの王国が合同してグレートブリテン王国が誕生した。2つの王国のうち、グレートブリテン島北部に位置した王国は何か。その名をしるせ。
13. この当時にイギリスを治めていた王朝は何か。その名をしるせ。
14. アメリカ独立革命に関する次の問 i・ii に答えよ。
 - i. 独立宣言を採択した第2回大陸会議が開催された都市はどこか。その名をしるせ。
 - ii. アメリカ独立宣言が発布された年に刊行された『諸国民の富（国富論）』の著者は誰か。その名をしるせ。
15. この3年前には、これと別の法律が廃止されたが、そのことは自由貿易の発展に寄与した。1846年に廃止されたその法律の名をしるせ。